

# 運用報告書（全体版）

第18作成期

決算日

第101期	2019年11月11日
第102期	2019年12月10日
第103期	2020年1月10日
第104期	2020年2月10日
第105期	2020年3月10日
第106期	2020年4月10日

## 日本株厳選ファンド・ アジア3通貨コース

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース」は、上記の通り決算を行いました。

ここに、第18作成期（第101期～第106期）の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式
設定日	2011年4月26日
信託期間	2011年4月26日～2021年4月12日（約10年）
運用方針	主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、わが国の株式を実質的な主要投資対象とするとともに、為替取引を行うことで信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるキャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。
主要運用対象	日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース ・ Japan Value Equity Concentrated Fund Asia Class 受益証券を主要投資対象とします。なお、親投資信託であるキャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。 Japan Value Equity Concentrated Fund Asia Class ・ 日本企業の株式を主要投資対象とします。また、為替取引を活用します。 キャッシュ・マネジメント・マザーファンド ・ 本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	・ 投資信託証券、短期社債等およびコマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・ 投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・ 外貨建資産への直接投資は行いません。 ・ 同一銘柄の投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎月10日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 * 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込金	騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
第77期 (2017年11月10日)	12,734	150	10.0	0.0	98.7	2,199
第78期 (2017年12月11日)	12,495	150	△ 0.7	0.0	98.6	2,277
第79期 (2018年1月10日)	13,133	150	6.3	0.0	98.8	2,333
第80期 (2018年2月13日)	11,405	150	△12.0	0.0	98.5	2,107
第81期 (2018年3月12日)	10,864	150	△ 3.4	0.0	98.5	2,015
第82期 (2018年4月10日)	10,850	150	1.3	0.0	98.5	1,952
第83期 (2018年5月10日)	10,994	150	2.7	0.0	98.4	1,994
第84期 (2018年6月11日)	10,897	150	0.5	0.0	98.6	1,967
第85期 (2018年7月10日)	10,282	150	△ 4.3	0.0	98.6	1,813
第86期 (2018年8月10日)	10,110	150	△ 0.2	0.0	98.5	1,787
第87期 (2018年9月10日)	9,366	150	△ 5.9	0.0	98.7	1,660
第88期 (2018年10月10日)	9,697	75	4.3	0.0	98.6	1,712
第89期 (2018年11月12日)	9,376	75	△ 2.5	0.0	98.8	1,619
第90期 (2018年12月10日)	8,990	75	△ 3.3	0.0	102.1	1,563
第91期 (2019年1月10日)	8,262	75	△ 7.3	0.0	98.8	1,358
第92期 (2019年2月12日)	8,427	75	2.9	0.0	99.0	1,375
第93期 (2019年3月11日)	8,530	75	2.1	0.0	98.2	1,371
第94期 (2019年4月10日)	8,939	75	5.7	0.0	98.4	1,422
第95期 (2019年5月10日)	8,141	75	△ 8.1	0.0	98.5	1,238
第96期 (2019年6月10日)	7,935	75	△ 1.6	0.0	98.9	1,181
第97期 (2019年7月10日)	8,344	75	6.1	0.0	98.9	1,231
第98期 (2019年8月13日)	7,402	75	△10.4	0.0	98.6	1,086
第99期 (2019年9月10日)	7,805	75	6.5	0.0	99.1	1,128
第100期 (2019年10月10日)	7,963	60	2.8	0.0	99.0	1,119
第101期 (2019年11月11日)	8,939	60	13.0	0.0	98.8	1,205
第102期 (2019年12月10日)	8,902	60	0.3	0.0	100.0	1,160
第103期 (2020年1月10日)	9,021	60	2.0	0.0	102.2	1,100
第104期 (2020年2月10日)	8,969	60	0.1	0.0	99.9	1,058
第105期 (2020年3月10日)	6,324	60	△28.8	0.0	98.5	731
第106期 (2020年4月10日)	6,352	60	1.4	0.0	98.8	715

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*基準価額の騰落率は分配金込み

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

## 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率		
第101期	(期 首) 2019年10月10日	7,963	—	0.0	99.0
	10月末	8,684	9.1	0.0	99.3
	(期 末) 2019年11月11日	8,999	13.0	0.0	98.8
第102期	(期 首) 2019年11月11日	8,939	—	0.0	98.8
	11月末	8,950	0.1	0.0	98.8
	(期 末) 2019年12月10日	8,962	0.3	0.0	100.0
第103期	(期 首) 2019年12月10日	8,902	—	0.0	100.0
	12月末	9,055	1.7	0.0	99.0
	(期 末) 2020年1月10日	9,081	2.0	0.0	102.2
第104期	(期 首) 2020年1月10日	9,021	—	0.0	102.2
	1月末	8,684	△ 3.7	0.0	99.0
	(期 末) 2020年2月10日	9,029	0.1	0.0	99.9
第105期	(期 首) 2020年2月10日	8,969	—	0.0	99.9
	2月末	7,988	△10.9	0.0	99.2
	(期 末) 2020年3月10日	6,384	△28.8	0.0	98.5
第106期	(期 首) 2020年3月10日	6,324	—	0.0	98.5
	3月末	6,405	1.3	0.0	99.0
	(期 末) 2020年4月10日	6,412	1.4	0.0	98.8

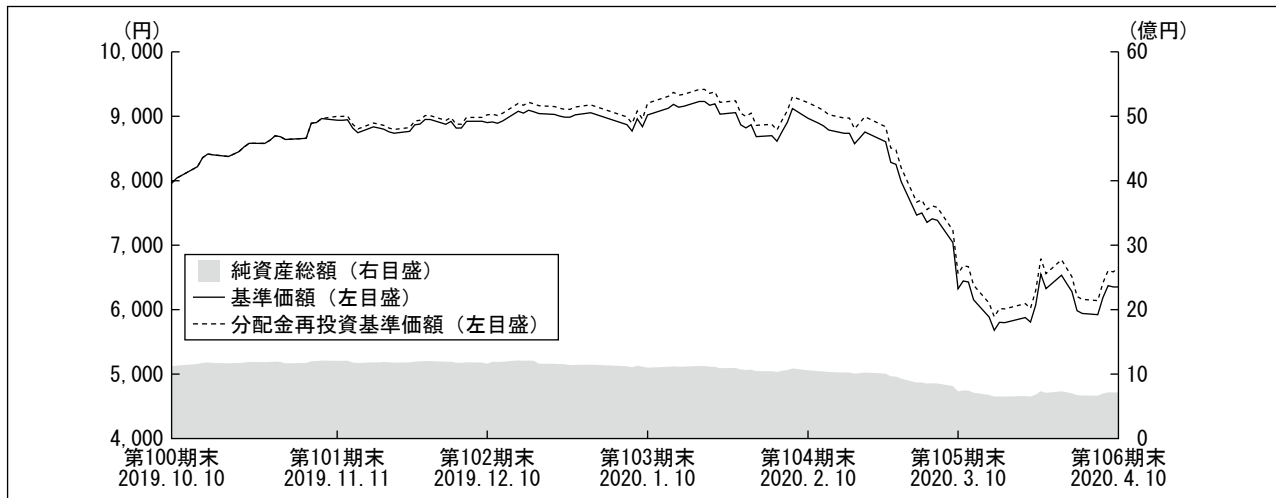
\*騰落率は期首比です。

\*期末基準価額は分配金込み

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第101期首：7,963円

第106期末：6,352円（作成対象期間における期中分配金合計額 360円）

騰落率：△16.5%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、Japan Value Equity Concentrated Fund Asia Classへの投資を通じて、わが国の株式を実質的な主要投資対象とするとともに、為替取引を行いました。

（上昇要因）

米中貿易協議で第一弾の合意に達したこと、割安になった株価バリュエーション（投資価値評価）が評価されたこと、日本企業全般に資本効率や株主還元に対する意識が高まっていること、新型肺炎対策で各国で大規模な金融緩和政策の発表や景気刺激策の検討が進められたこと、中国で新型肺炎の感染者数が明確に減少に転じたこと、欧米でも新型肺炎の感染にピークアウトの兆しが感じられるようになったことなどから、株式市場が堅調に推移したことが当ファンドの上昇要因となりました。

（下落要因）

新型肺炎の世界的な感染拡大が警戒されたこと、企業業績の見通しに不透明感が強まったこと、中東を中心に地政学リスクが高まったこと、香港で反中国デモが続いたこと、国内で消費税増税が行われたことなどから、株式市場が軟調に推移したことが当ファンドの下落要因となりました。

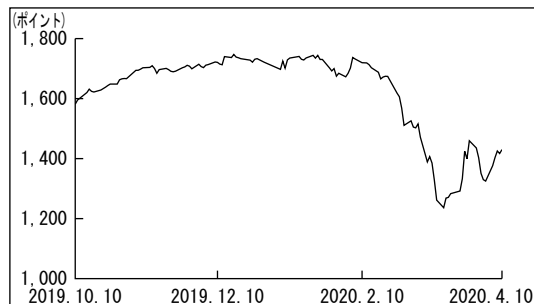
また、円に対して中国元はほぼ横ばいだったものの、インドルピー、インドネシアルピアが下落したことも下落要因となりました。

## 【投資環境】

作成期首のTOPIXは1,581.42ポイントで始まり、2019年10月から12月にかけては、米中貿易交渉の進展などにより年初来高値を更新しました。2020年の新年入り後は米国・イラン間の有事リスクで下落から始まったものの、米中貿易交渉の第一段階の合意などから反発し高値水準となりました。しかし、中国で発生した新型肺炎の流行懸念で、1月後半にかけ伸び悩みました。2月前半に米国株式市場は高値更新となったものの、国内株式市場は、日本においても新型肺炎の感染拡大が確認され、上値の重い展開となりました。2月後半には、新型肺炎が欧州や韓国など世界各国に拡大したことから国内株式市場は大きく下落し、年初来安値を更新しました。3月に入り、主要国の中央銀行が金融緩和に動きましたが、世界的な株価下落の流れは止まりませんでした。しかし、下旬にかけて日本銀行によるETF（上場投資信託）購入額倍増やFRB（米連邦準備制度理事会）による無制限の量的緩和表明、大規模な米景気刺激策に対する期待感から大きく反発しました。いったん下げたものの、イタリアや米国で新型肺炎感染のピークアウトの兆しが見られたことや、国内の緊急事態宣言発令による材料出尽くしで再び上昇し、作成期末のTOPIXは1,430.04ポイントで終わりました。

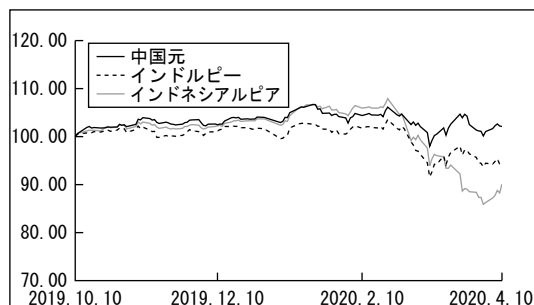
国内短期金融市場では、作成期初-0.36%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは上昇した後、-0.10%~-0.20%の狭いレンジで推移しました。2020年2月末以降は年越え要因に絡む海外投資家による短期の国債への需要の高まりや年度末を控えた担保需要の高まり等を受けて-0.45%近辺まで低下しました。その後、作成期末にかけてマイナス幅を縮小し、-0.16%近辺で作成期末を迎えました。

### TOPIXの推移



\* 東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株東京証券取引所が有しています。

### 対円為替レートの推移



\* グラフは、各通貨毎に作成期首の対円為替レート（WMロイター）を100として指数化したものです。

## 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

### 【ポートフォリオ】

#### ■日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

主要投資対象であるJapan Value Equity Concentrated Fund Asia Classを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の投資信託証券組入比率は98.8%としました。

#### ■Japan Value Equity Concentrated Fund Asia Class

当ファンドの投資方針に従い、わが国の株式で、企業の資産・利益・フリーキャッシュフロー等と比較して株価が割安と判断される企業の中から、事業の将来性、経営力、財務内容等を勘案して今後の株価上昇が期待できる銘柄を選定し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行いました。組入銘柄数は投資方針の30銘柄から60銘柄程度の範囲内で推移させ、実質的な株式組入比率は9割以上を維持しました。作成期末の業種別配分は、TOPIX対比では建設業、電気機器、卸売業などに多めに投資しました。

また、保有する円建て資産に対し、円売り、アジアの3通貨買いの為替取引を行いました。

#### ■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

### 【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第101期～第106期の各期において60円とさせて頂きました。（1万口当り税込み）

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2019年10月11日 ～2019年11月11日	2019年11月12日 ～2019年12月10日	2019年12月11日 ～2020年1月10日	2020年1月11日 ～2020年2月10日	2020年2月11日 ～2020年3月10日	2020年3月11日 ～2020年4月10日
当期分配金 (円)	60	60	60	60	60	60
(対基準価額比率) (%)	0.67	0.67	0.66	0.66	0.94	0.94
当期の収益 (円)	49	51	50	37	39	29
当期の収益以外 (円)	11	8	10	22	21	31
翌期繰越分配対象額 (円)	8,828	8,820	8,818	8,796	8,776	8,750

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### 今後の運用方針

#### ■日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

引き続き、運用の基本方針に従い、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、わが国の株式を実質的な主要投資対象とするとともに、為替取引を行うことで信託財産の成長を目指して運用を行います。

#### ■Japan Value Equity Concentrated Fund Asia Class

引き続き、わが国の株式で、企業の資産・利益・フリーキャッシュフロー等と比較して株価が割安と判断される企業の中から、事業の将来性、経営力、財務内容等を勘案して今後の株価上昇が期待できる銘柄を選定し、ポートフォリオを構築していきます。また同一セクター内でも業績格差が拡大する傾向が続くと見ていることから、業績見通しを精査し、堅調な業績が見込める企業への選別投資を進めていく方針です。

#### ■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

日本銀行は、2018年7月の金融政策決定会合において、現行の金融緩和政策を粘り強く続けていくため、政策金利のフォワードガイダンスを導入しました。したがって当分の間、市場利回りは低い水準での推移が見込まれます。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については、2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

## 1万口当りの費用明細

項目	第101期～第106期		項目の概要
	2019年10月11日～2020年4月10日		
	金額	比率	
信託報酬	65円	0.784%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は8,294円です。
(投信会社)	(32)	(0.385)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(32)	(0.385)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.005	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	65	0.789	

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

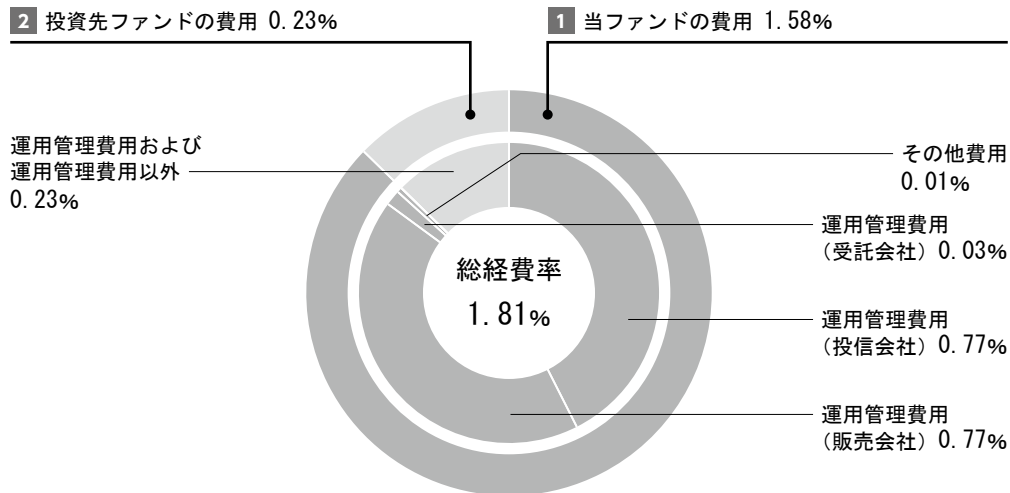
なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。



## 参考情報 総経費率（年率換算）



<b>総経費率 (1 + 2)</b>	<b>1.81%</b>
<b>1</b> 当ファンドの費用の比率	1.58%
<b>2</b> 投資先ファンドの費用の比率	0.23%

- \* **1**の各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- \* **2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できないため、まとめて表示しています。  
また、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- \* **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- \* 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.81%です。

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

## 売買及び取引の状況

(2019年10月11日から2020年4月10日まで)

### ■投資信託受益証券

決 算 期		第 101 期 ~		第 106 期	
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	Japan Value Equity Concentrated Fund Asia Class	千口 142,541	千円 94,541	千口 511,562	千円 342,713

\*金額は受渡し代金

## 利害関係人との取引状況等

(2019年10月11日から2020年4月10日まで)

### ■利害関係人との取引状況

<日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース>

当作成期における利害関係人との取引はありません。

<キャッシュ・マネジメント・マザーファンド>

区 分	第 101 期 ~				第 106 期		
	買 付 額 等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売 付 額 等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C	
公 社 債	百万円 3,732	百万円 600	% 16.1	百万円 -	百万円 -	% -	

\*平均保有割合0.0%

\*平均保有割合とは親投資信託残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

## 組入資産の明細

2020年4月10日現在

### ■ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
Japan Value Equity Concentrated Fund Asia Class	千口 1,392,578	千円 706,594	% 98.8
合 計	1,392,578	706,594	98.8

\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合

### ■親投資信託残高

	第 100 期 末		第 106 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	千口 9	千口 9	千円 9	千円 9

## 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

### <補足情報>

#### キャッシュ・マネジメント・マザーファンドにおける組入資産の明細

下記は、キャッシュ・マネジメント・マザーファンド全体（5,581,375千口）の内容です。

#### ■公社債

##### A 債券種類別開示

##### 国内（邦貨建）公社債

区 分	2020年4月10日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地 方 債 証 券	200,000 ( 200,000)	200,326 ( 200,326)	3.5 ( 3.5)	— (—)	— (—)	— (—)	3.5 ( 3.5)
特 殊 債 券 (除く金融債券)	2,028,000 (2,028,000)	2,033,548 (2,033,548)	35.9 (35.9)	— (—)	— (—)	— (—)	35.9 (35.9)
普 通 社 債 券	1,700,000 (1,700,000)	1,702,986 (1,702,986)	30.0 (30.0)	— (—)	— (—)	— (—)	30.0 (30.0)
合 計	3,928,000 (3,928,000)	3,936,862 (3,936,862)	69.4 (69.4)	— (—)	— (—)	— (—)	69.4 (69.4)

\* ( ) 内は、非上場債で内書き

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

## B 個別銘柄開示

### 国内（邦貨建）公社債

銘柄	柄	2020年4月10日現在			
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
<b>(地方債証券)</b>		%	千円	千円	
2	川崎市公債15年	1.6300	100,000	100,306	2020/06/22
27-1	仙台市5年	0.1010	100,000	100,020	2021/01/27
小	計	—	200,000	200,326	—
<b>(特殊債券（除く金融債券）)</b>					
11	政保地方公共団	1.4000	400,000	400,070	2020/04/17
104	政保道路機構	1.4000	100,000	100,066	2020/04/30
12	政保地方公共団	1.3000	200,000	200,294	2020/05/22
107	政保道路機構	1.3000	348,000	348,615	2020/05/29
110	政保道路機構	1.3000	195,000	195,561	2020/06/30
115	政保道路機構	1.0000	195,000	195,762	2020/08/31
18	政保地方公共団	0.9000	495,000	497,642	2020/11/17
122	政保道路機構	0.9000	95,000	95,535	2020/11/30
小	計	—	2,028,000	2,033,548	—
<b>(普通社債券)</b>					
80	東海旅客鉄道	0.0010	100,000	99,992	2020/04/13
173	オリックス	0.8400	100,000	100,008	2020/04/17
43	住友化学	1.5800	100,000	100,046	2020/04/23
46	クレディセゾン	0.7000	100,000	100,018	2020/04/24
184	オリックス	0.3370	100,000	100,000	2020/04/30
13	森ビル	0.4660	100,000	100,029	2020/05/19
6	日本電産	0.0010	100,000	99,981	2020/05/26
7	アサヒグループHD	0.2370	100,000	100,020	2020/05/28
33	三菱UFJリース	0.2970	100,000	100,020	2020/06/04
495	東北電力	0.1400	100,000	100,001	2020/06/25
316	北海道電力	1.1640	100,000	100,208	2020/06/25
75	三菱商事	1.2310	100,000	100,339	2020/07/29
15	東日本旅客鉄道	2.6500	100,000	100,956	2020/08/25
2	コカ・コーライースト	0.2760	100,000	100,106	2020/12/14
3	大日本印刷	1.3580	100,000	100,854	2020/12/18
5	日本梱包運輸	0.6140	100,000	100,286	2020/12/18
2	ファーストリテイリング	0.2910	100,000	100,116	2020/12/18
小	計	—	1,700,000	1,702,986	—
合	計	—	3,928,000	3,936,862	—

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

## 投資信託財産の構成

2020年4月10日現在

項 目	第 106 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	706,594	97.8
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	9	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	16,158	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	722,762	100.0

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2019年11月1日)	(2019年12月10日)	(2020年1月10日)	(2020年2月10日)	(2020年3月10日)	(2020年4月10日) 現在
	第 101 期 末	第 102 期 末	第 103 期 末	第 104 期 末	第 105 期 末	第 106 期 末
(A) 資 産	1,219,105,122円	1,196,091,470円	1,146,809,558円	1,085,143,074円	739,931,210円	722,762,403円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	25,953,888	26,035,952	22,708,624	20,712,401	18,950,490	16,158,218
投資信託受益証券(評価額)	1,191,323,580	1,160,206,573	1,124,090,993	1,058,325,749	720,970,777	706,594,246
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド(評価額)	9,943	9,942	9,941	9,942	9,943	9,939
未 収 入 金	1,817,711	9,839,003	—	6,094,982	—	—
(B) 負 債	13,542,409	35,561,870	46,610,689	26,269,350	8,191,904	7,730,538
未 払 収 益 分 配 金	8,092,095	7,821,799	7,317,526	7,083,343	6,942,185	6,754,023
未 払 解 約 金	3,831,080	26,244,959	37,721,582	17,700,493	1,155	1,966
未 払 信 託 報 酬	1,608,524	1,474,536	1,540,797	1,445,111	1,200,176	920,043
そ の 他 未 払 費 用	10,710	20,576	30,784	40,403	48,388	54,506
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,205,562,713	1,160,529,600	1,100,198,869	1,058,873,724	731,739,306	715,031,865
元 本	1,348,682,512	1,303,633,243	1,219,587,771	1,180,557,272	1,157,030,936	1,125,670,587
次 期 繰 越 損 益 金	△ 143,119,799	△ 143,103,643	△ 119,388,902	△ 121,683,548	△ 425,291,630	△ 410,638,722
(D) 受 益 権 総 口 数	1,348,682,512口	1,303,633,243口	1,219,587,771口	1,180,557,272口	1,157,030,936口	1,125,670,587口
1万口当り基準価額(C/D)	8,939円	8,902円	9,021円	8,969円	6,324円	6,352円

\*元本状況

期首元本額	1,406,222,451円	1,348,682,512円	1,303,633,243円	1,219,587,771円	1,180,557,272円	1,157,030,936円
期中追加設定元本額	14,620,404円	16,749,853円	36,130,656円	2,848,605円	3,575,590円	9,835,902円
期中一部解約元本額	72,160,343円	61,799,122円	120,176,128円	41,879,104円	27,101,926円	41,196,251円
*元本の欠損	143,119,799円	143,103,643円	119,388,902円	121,683,548円	425,291,630円	410,638,722円

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

## 損益の状況

	自2019年10月11日 至2019年11月11日	自2019年11月12日 至2019年12月10日	自2019年12月11日 至2020年1月10日	自2020年1月11日 至2020年2月10日	自2020年2月11日 至2020年3月10日	自2020年3月11日 至2020年4月10日
項 目	第 101 期	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期
(A) 配 当 等 収 益	6,729,568円	8,168,610円	7,666,678円	5,908,448円	5,774,823円	4,197,331円
受 取 配 当 金	6,730,051	8,169,349	7,667,610	5,909,029	5,775,170	4,197,825
受 取 利 息	19	35	22	20	8	39
支 払 利 息	△ 502	△ 774	△ 954	△ 601	△ 355	△ 533
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	133,667,069	△ 3,452,176	15,687,193	△ 3,487,812	△ 303,448,445	6,710,772
売 買 益	137,883,104	401,191	16,750,791	676,982	1,601,618	8,579,622
売 買 損	△ 4,216,035	△ 3,853,367	△ 1,063,598	△ 4,164,794	△ 305,050,063	△ 1,868,850
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,619,234	△ 1,484,402	△ 1,551,054	△ 1,454,730	△ 1,208,161	△ 926,161
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	138,777,403	3,232,032	21,802,817	965,906	△ 298,881,783	9,981,942
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 494,445,342	△ 345,838,403	△ 318,024,020	△ 291,958,144	△ 289,628,432	△ 571,958,622
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	220,640,235	207,324,527	184,149,827	176,392,033	170,160,770	158,091,981
(配 当 等 相 当 額)	( 1,192,101,826)	( 1,150,850,402)	( 1,075,681,733)	( 1,040,078,073)	( 1,017,732,102)	( 987,785,960)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 971,461,591)	(△ 943,525,875)	(△ 891,531,906)	(△ 863,686,040)	(△ 847,571,332)	(△ 829,693,979)
(G) 計 (D+E+F)	△ 135,027,704	△ 135,281,844	△ 112,071,376	△ 114,600,205	△ 418,349,445	△ 403,884,699
(H) 収 益 分 配 金	△ 8,092,095	△ 7,821,799	△ 7,317,526	△ 7,083,343	△ 6,942,185	△ 6,754,023
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 143,119,799	△ 143,103,643	△ 119,388,902	△ 121,683,548	△ 425,291,630	△ 410,638,722
追 加 信 託 差 損 益 金	219,156,685	206,281,621	182,930,240	174,739,253	167,731,006	154,602,403
(配 当 等 相 当 額)	( 1,190,618,276)	( 1,149,807,496)	( 1,074,462,146)	( 1,038,425,293)	( 1,015,302,338)	( 984,296,382)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 971,461,591)	(△ 943,525,875)	(△ 891,531,906)	(△ 863,686,040)	(△ 847,571,332)	(△ 829,693,979)
分 配 準 備 積 立 金	109,837	10,168	1,068,786	55,312	108,287	680,942
繰 越 損 益 金	△ 362,386,321	△ 349,395,432	△ 303,387,928	△ 296,478,113	△ 593,130,923	△ 565,922,067

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

### <分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

決 算 期	第 101 期	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期
(A) 配 当 等 収 益 (費用控除後)	6,652,008円	6,684,208円	7,157,467円	4,453,718円	4,566,662円	3,840,945円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収 益 調 整 金	1,192,101,826	1,150,850,402	1,075,681,733	1,040,078,073	1,017,732,102	987,785,960
(D) 分 配 準 備 積 立 金	66,374	104,853	9,258	1,032,157	54,046	104,442
分配可能額(A+B+C+D)	1,198,820,208	1,157,639,463	1,082,848,458	1,045,563,948	1,022,352,810	991,731,347
(1万口当り分配可能額)	( 8,888.82)	( 8,880.1)	( 8,878.81)	( 8,856.53)	( 8,836)	( 8,810.14)
収 益 分 配 金	8,092,095	7,821,799	7,317,526	7,083,343	6,942,185	6,754,023
(1万口当り収益分配金)	( 60)	( 60)	( 60)	( 60)	( 60)	( 60)

## 分配金のお知らせ

決算期	第 101 期	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期
1 万口当り分配金(税込み)	60円	60円	60円	60円	60円	60円

### ■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

### ■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

## 参考情報

### ■投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名	Japan Value Equity Concentrated Fund JPY Class Japan Value Equity Concentrated Fund BRL Class Japan Value Equity Concentrated Fund AUD Class Japan Value Equity Concentrated Fund Asia Class Japan Value Equity Concentrated Fund USD Class Japan Value Equity Concentrated Fund MXN Class Japan Value Equity Concentrated Fund TRY Class
基本的性格	ケイマン籍／外国投資信託証券／円建て
運用目的	主として日本の株式に投資することにより、中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。
主要投資対象	日本企業の株式を主要投資対象とします。また、為替取引を活用します。
投資方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. わが国の株式（上場予定を含みます。）の中から、割安と判断される魅力的な銘柄を発掘し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行います。</li> <li>2. 企業の資産・利益等と比較して株価が割安と判断される企業群を投資対象とします。</li> <li>3. 事業の将来性、経営力、財務内容等を勘案して今後の株価上昇が期待できる銘柄を選定します。</li> <li>4. 通常時においては、30銘柄から60銘柄前後に投資することを基本とします。</li> <li>5. 各クラスにおいて、原則として保有する円建て資産に対し、円売り、取引対象通貨買いの為替取引を行います。JPY Classにおいては為替取引を行いません。</li> <li>6. 資金動向、市況動向等によっては上記の運用ができない場合があります。</li> </ol>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、原則として取得時においてファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・円建て以外の資産への投資は行いません。</li> <li>・デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>
申込手数料	ありません。
管理報酬その他費用	<p>管理報酬等：年率0.18%程度</p> <p>上記の他、信託財産にかかる租税、組入価値証券の売買時にかかる費用、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査にかかる費用、ファンドの設立にかかる費用、現地での登録料、法律顧問費用、名義書換事務代行費用、管理費用、為替管理費用、組入価値証券の保管に関する費用、借入金や立替金に関する利息等はファンドの信託財産から負担されます。</p> <p>上記の管理報酬等には、管理事務代行会社への報酬が含まれており、その報酬には下限金額（約40,000米ドル）が設定されています。</p> <p>受託会社への費用として年間10,000米ドルがかかります。</p> <p>※上記の報酬等は将来変更になる場合があります。</p>
投資運用会社	スミトモ ミツイ DS アセットマネジメント(UK)リミテッド
副投資運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社（日本株の運用）

※上記の内容は、今後変更になる場合があります。



# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

## ■投資対象とする投資信託証券の資産の状況

当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のJapan Value Equity Concentrated Fundの情報を委託会社が抜粋・翻訳したものを記載しております。

### 貸借対照表

	2018年12月31日現在 (単位：円)
<b>資産の部</b>	
有価証券（公正価値）（取得原価 152,191,443,322円）	137,832,747,672
外国為替予約取引に係る評価益	12,301,399
未収入金：	
有価証券売却分	3,214,461,132
配当金	211,933,614
受益証券売却分	106,326,660
差入証拠金	540,498,204
未収変動証拠金	9,331,751,898
その他資産	1,766,639
<b>資産 合計</b>	<b>151,251,787,218</b>
<b>負債の部</b>	
外国為替予約取引に係る評価損	1,763,022,290
カストディアンに対する負債	3,525,624
未払金：	
有価証券購入分	3,022,919,712
運用報酬	49,774,381
受益証券償還分	37,458,915
管理会社報酬	21,539,216
為替管理報酬	19,706,931
カストディーフィー	9,798,742
専門家報酬	5,995,087
名義書換代理人報酬	4,806,380
その他費用	452
<b>負債 合計</b>	<b>4,938,547,730</b>
<b>純資産</b>	<b>146,313,239,488</b>
<b>純資産</b>	
Class A - JPY Class	68,630,792,294
Class B - AUD Class	4,369,891,925
Class C - BRL Class	35,823,321,508
Class D - Asia Class	1,326,012,522
Class E - USD Class	33,923,159,883
Class F - MXN Class	516,034,807
Class G - TRY Class	1,724,026,549
	<b>146,313,239,488</b>
<b>発行済み受益証券</b>	
Class A - JPY Class	90,454,141,855
Class B - AUD Class	6,942,415,077
Class C - BRL Class	70,090,801,592
Class D - Asia Class	2,112,959,118
Class E - USD Class	49,288,278,802
Class F - MXN Class	1,001,765,299
Class G - TRY Class	5,432,361,393
<b>受益証券一口あたりの純資産</b>	
Class A - JPY Class	0.7587
Class B - AUD Class	0.6294
Class C - BRL Class	0.5111
Class D - Asia Class	0.6276
Class E - USD Class	0.6883
Class F - MXN Class	0.5151
Class G - TRY Class	0.3174

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

損益計算書（2018年12月31日に終了した年度）

（単位：円）

収益	
受取配当金（源泉税 539,857,841円控除後）	2,985,168,859
<b>収益 合計</b>	<b>2,985,168,859</b>
費用	
運用報酬	217,087,472
管理会社報酬	93,077,401
支払利息	51,538,459
カスタディーフィー	37,835,771
名義書換代理人報酬	20,480,472
為替管理報酬	10,490,050
専門家報酬	4,869,591
受託会社報酬	1,544,834
登録費用	1,221,192
<b>費用 合計</b>	<b>438,145,242</b>
<b>純利益</b>	<b>2,547,023,617</b>
実現及び未実現（損）益：	
<b>実現（損）益：</b>	
有価証券	6,043,744,638
先物取引	(2,830,103,481)
外国為替取引及び外国為替予約取引	(6,019,626,138)
<b>実現損 合計</b>	<b>(2,805,984,981)</b>
<b>未実現（損）益の変動：</b>	
有価証券	(47,265,702,668)
先物取引	(2,346,090,000)
外国為替取引及び外国為替予約取引	(1,137,668,273)
<b>未実現損の変動 合計</b>	<b>(50,749,460,941)</b>
<b>実現及び未実現損 合計</b>	<b>(53,555,445,922)</b>
<b>運用による純資産の減少額</b>	<b>(51,008,422,305)</b>

純資産変動計算書（2018年12月31日に終了した年度）

（単位：円）

運用による純資産の増（減）額：	
純利益	2,547,023,617
実現損	(2,805,984,981)
未実現損の変動	(50,749,460,941)
<b>運用による純資産の減少額</b>	<b>(51,008,422,305)</b>
受益者への分配額	(11,667,125,274)
ファンドの受益証券の取引による純資産の減少額	(5,867,625,426)
純資産の減少額	(68,543,173,005)
純資産	
期首	214,856,412,493
<b>期末</b>	<b>146,313,239,488</b>

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

有価証券明細表 (2018年12月31日現在)

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位: 円)
	<b>普通株式 (83.5%)</b>		
	日本 (83.5%)		
	<b>AUTO MANUFACTURERS (7.6%)</b>		
1,079,800	Honda Motor Co., Ltd.		3,125,481,100
1,800,000	Isuzu Motors, Ltd.		2,787,300,000
588,700	Subaru Corp.		1,389,332,000
606,500	Toyota Motor Corp.		3,885,239,000
			<hr/>
			11,187,352,100
	<b>AUTO PARTS &amp; EQUIPMENT (0.6%)</b>		
144,700	Koito Manufacturing Co., Ltd.		821,896,000
	<b>BANKS (5.5%)</b>		
10,934,400	Mitsubishi UFJ Financial Group, Inc.		5,881,613,760
536,200	Sumitomo Mitsui Trust Holdings, Inc.		2,156,596,400
			<hr/>
			8,038,210,160
	<b>BEVERAGES (3.3%)</b>		
739,500	Asahi Group Holdings, Ltd.		3,156,925,500
349,300	Suntory Beverage & Food, Ltd.		1,732,528,000
			<hr/>
			4,889,453,500
	<b>CHEMICALS (4.7%)</b>		
709,600	Denka Co., Ltd.		2,206,856,000
488,700	Showa Denko KK		1,598,049,000
200,900	Sumitomo Bakelite Co., Ltd.		763,420,000
1,045,900	Ube Industries, Ltd.		2,336,540,600
			<hr/>
			6,904,865,600
	<b>COMPUTERS (4.5%)</b>		
464,000	Fujitsu, Ltd.		3,177,008,000
660,000	NEC Corp.		2,154,900,000
307,300	Nomura Research Institute, Ltd.		1,252,247,500
			<hr/>
			6,584,155,500
	<b>DISTRIBUTION/WHOLESALE (6.6%)</b>		
2,096,400	Marubeni Corp.		1,619,259,360
1,480,900	Mitsubishi Corp.		4,472,318,000
2,107,700	Mitsui & Co., Ltd.		3,563,066,850
			<hr/>
			9,654,644,210
	<b>DIVERSIFIED FINANCIAL SERVICES (2.0%)</b>		
1,819,300	ORIX Corp.		2,920,886,150
	<b>ELECTRIC (1.7%)</b>		
1,476,600	Kansai Electric Power Co., Inc.		2,436,390,000
	<b>ELECTRICAL COMPONENTS &amp; EQUIPMENT (0.2%)</b>		
200,000	Brother Industries, Ltd.		326,200,000
	<b>ELECTRONICS (1.9%)</b>		
96,400	Nidec Corp.		1,202,590,000
928,300	Taiyo Yuden Co., Ltd.		1,518,698,800
			<hr/>
			2,721,288,800
	<b>ENGINEERING &amp; CONSTRUCTION (4.1%)</b>		
1,037,200	Hazama Ando Corp.		753,007,200
1,484,400	Kajima Corp.		2,193,943,200
644,600	Taisei Corp.		3,032,843,000
			<hr/>
			5,979,793,400

# 日本株厳選ファンド・アジア 3 通貨コース

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位: 円)
673,900	<b>HOME FURNISHINGS (2.4%)</b> Sony Corp.		3,589,191,400
432,900	<b>INSURANCE (3.0%)</b> Dai-ichi Life Holdings, Inc.		743,722,200
696,400	Tokio Marine Holdings, Inc.		3,646,350,400
			4,390,072,600
1,176,800	<b>IRON/STEEL (1.4%)</b> JFE Holdings, Inc.		2,067,637,600
1,458,400	<b>LEISURE TIME (2.1%)</b> Yamaha Motor Co., Ltd.		3,148,685,600
377,500	<b>MACHINERY-CONSTRUCTION &amp; MINING (2.0%)</b> Hitachi, Ltd.		1,108,151,250
774,600	Komatsu, Ltd.		1,832,316,300
			2,940,467,550
111,000	<b>MINING (0.2%)</b> Mitsui Mining & Smelting Co., Ltd.		252,747,000
818,000	<b>MISCELLANEOUS MANUFACTURERS (2.4%)</b> Fujifilm Holdings Corp.		3,492,860,000
5,470,800	<b>OIL &amp; GAS (2.1%)</b> JXTG Holdings, Inc.		3,155,010,360
2,109,300	<b>PHARMACEUTICALS (7.6%)</b> Kyowa Hakko Kirin Co., Ltd.		4,381,016,100
794,000	Otsuka Holdings Co., Ltd.		3,567,442,000
845,000	Takeda Pharmaceutical Co., Ltd.		3,130,725,000
			11,079,183,100
1,111,300	<b>REAL ESTATE (1.9%)</b> Mitsui Fudosan Co., Ltd.		2,717,128,500
141,300	<b>RETAIL (2.4%)</b> Don Quijote Holdings Co., Ltd.		963,666,000
1,906,700	K's Holdings Corp.		2,059,236,000
129,200	Matsumotokiyoshi Holdings Co., Ltd.		434,758,000
			3,457,660,000
360,000	<b>SEMICONDUCTORS (0.8%)</b> Ulvac, Inc.		1,148,400,000
333,200	<b>SOFTWARE (1.0%)</b> TIS, Inc.		1,441,090,000
1,265,700	<b>TELECOMMUNICATIONS (3.9%)</b> Nippon Telegraph & Telephone Corp.		5,672,867,400
739,900	<b>TOYS/GAMES/HOBBIES (2.5%)</b> Bandai Namco Holdings, Inc.		3,644,007,500
380,400	<b>TRANSPORTATION (5.1%)</b> East Japan Railway Co.		3,694,064,400

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位: 円)
452,000	Nippon Express Co., Ltd.		2,766,240,000
360,300	Tobu Railway Co., Ltd.		1,067,568,900
	日本計 (取得原価 136,548,712,980円)		7,527,873,300
	普通株式計 (取得原価 136,548,712,980円)		122,190,017,330
<b>額面</b>			
	短期投資 (10.7%)		(単位: 円)
	日本 (10.7%)		
	定期預金 (10.7%)		
	MUFG Bank, Ltd.		
JPY 10,635,400,583	(0.27)% <sup>^</sup> due 01/04/19		10,635,400,583
	Sumitomo Mitsui Banking Corp.		
JPY 5,007,329,759	(0.27)% <sup>^</sup> due 01/04/19		5,007,329,759
	日本計 (取得原価 15,642,730,342円)		15,642,730,342
	短期投資計 (取得原価 15,642,730,342円)		15,642,730,342
	有価証券計 (取得原価 152,191,443,322円)	94.2%	137,832,747,672
	現金及びその他資産 (負債控除後)	5.8	8,480,491,816
	純資産	100.0%	146,313,239,488

<sup>^</sup> 日本円建ての短期投資の金利はゼロパーセント未満の場合があります。

# 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

2018年12月31日現在、10,704,015,968円の現金が以下の先物取引の証拠金として差し入れられている。

先物取引 2018年12月31日現在

ポジション	銘柄	限月	契約数	評価(損)
Long	Topix Index Future	03/2019	1,613	¥(1,362,985,000)

ファンドレベルの外国為替予約取引 2018年12月31日現在

買	取引先	契約額	決済日	売	契約額	評価益	評価(損)	評価(損)益
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	107,549	01/04/2019	JPY	12,084,218	¥	— ¥ (285,084)	¥ (285,084)
USD	Brown Brothers Harriman & Co.	5,739	01/04/2019	JPY	642,754	—	(13,163)	(13,163)
						¥	— ¥ (298,247)	¥ (298,247)

Class B - AUD Classの外国為替予約取引 2018年12月31日現在

買	取引先	契約額	決済日	売	契約額	評価益	評価(損)	評価(損)益
AUD	Citibank N.A.	54,115,698	01/30/2019	JPY	4,408,465,741	¥	— ¥ (235,762,392)	¥ (235,762,392)

Class C - BRL Classの外国為替予約取引 2018年12月31日現在

買	取引先	契約額	決済日	売	契約額	評価益	評価(損)	評価(損)益
BRL	Citibank N.A.	1,237,731,047	01/30/2019	JPY	35,502,896,815	¥	— ¥ (612,801,121)	¥ (612,801,121)

Class D - Asia Classの外国為替予約取引 2018年12月31日現在

買	取引先	契約額	決済日	売	契約額	評価益	評価(損)	評価(損)益
CNY	Citibank N.A.	27,202,176	01/30/2019	JPY	443,697,520	¥	— ¥ (9,954,298)	¥ (9,954,298)
IDR	Citibank N.A.	57,763,990,443	01/30/2019	JPY	442,444,339	—	(4,016,261)	(4,016,261)
INR	Citibank N.A.	280,443,178	01/30/2019	JPY	442,215,793	—	(3,903,088)	(3,903,088)
						¥	— ¥ (17,873,647)	¥ (17,873,647)

Class E - USD Classの外国為替予約取引 2018年12月31日現在

買	取引先	契約額	決済日	売	契約額	評価益	評価(損)	評価(損)益
USD	Citibank N.A.	289,542,636	01/30/2019	JPY	32,580,070,158	¥	— ¥ (885,181,757)	¥ (885,181,757)

Class F - MXN Classの外国為替予約取引 2018年12月31日現在

買	取引先	契約額	決済日	売	契約額	評価益	評価(損)	評価(損)益
MXN	Citibank N.A.	96,144,283	01/30/2019	JPY	519,868,797	¥	12,301,399 ¥	— ¥ 12,301,399

Class G - TRY Classの外国為替予約取引 2018年12月31日現在

買	取引先	契約額	決済日	売	契約額	評価益	評価(損)	評価(損)益
TRY	Citibank N.A.	84,030,686	01/30/2019	JPY	1,712,222,591	¥	— ¥ (11,105,126)	¥ (11,105,126)

## 通貨:

AUD - オーストラリアドル  
 BRL - ブラジルレアル  
 CNY - 中国元  
 IDR - インドネシアルピア  
 INR - インドルピー  
 JPY - 日本円  
 MXN - メキシコペソ  
 TRY - トルコリラ  
 USD - 米ドル

## 日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース

### デリバティブ取引の評価

下記の表はファンドの潜在的な資産負債をネットしたデリバティブポジションの要約である。

取引先		デリバティブ 資産の評価	デリバティブ 負債の評価	担保受入*	担保差入*	純額**
店頭デリバティブ取引						
外国為替予約取引	Brown Brothers Harriman and Co.	¥	¥ (298,247)	¥	¥	¥ (298,247)
	Citibank N. A.	12,301,399	(1,762,724,043)	—	540,498,204	(1,209,924,440)
計		¥ 12,301,399	¥(1,763,022,290)	¥	¥ 540,498,204	¥(1,210,222,687)

\*実際の担保受入及び担保差入は上記の表に開示されたものより多い場合がある。

\*\*純額はデフォルトが発生した場合に、取引先から受け入れるまたは取引先に対して（支払う）ことを意味する。

純額は同一の法人に対する同一の契約に基づく取引を通算することが認められている。

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2019年7月25日

(第13期：2018年7月26日～2019年7月25日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式への投資は行いません。</li><li>・ 外貨建資産への投資は行いません。</li><li>・ デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。</li></ul>



三井住友DSアセットマネジメント

(旧：大和住銀投信投資顧問)  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>



# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		公社債 組入比率	純資産 総額
		期騰 落	中率		
第9期 (2015年7月27日)	円		%	%	百万円
	10,179		0.0	68.9	5,091
第10期 (2016年7月25日)	10,186		0.1	81.1	4,928
第11期 (2017年7月25日)	10,177		△0.1	58.8	3,841
第12期 (2018年7月25日)	10,172		△0.0	69.2	4,478
第13期 (2019年7月25日)	10,167		△0.0	72.9	3,760

\*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準	価額		公社債 組入比率	債 率
		騰 落	率		
(期首) 2018年7月25日	円		%		%
	10,172		—		69.2
7月末	10,172		0.0		55.0
8月末	10,171		△0.0		72.1
9月末	10,171		△0.0		71.7
10月末	10,172		0.0		72.9
11月末	10,170		△0.0		69.2
12月末	10,170		△0.0		69.8
2019年1月末	10,170		△0.0		67.5
2月末	10,169		△0.0		68.5
3月末	10,169		△0.0		64.4
4月末	10,168		△0.0		75.0
5月末	10,168		△0.0		65.9
6月末	10,167		△0.0		60.0
(期末) 2019年7月25日	10,167		△0.0		72.9

\*騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

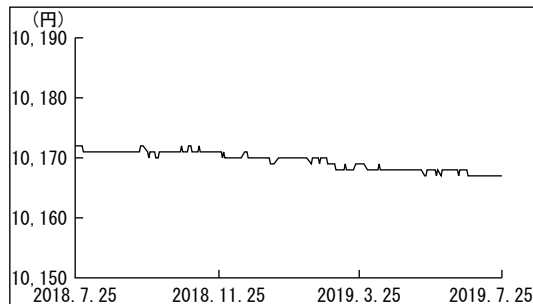
期首：10,172円  
期末：10,167円  
騰落率：△0.0%

### 【基準価額の主な変動要因】

(下落要因)

マイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレートのマイナス化が下落要因となりました。

基準価額の推移



### 【投資環境】

国内短期金融市場では、期初-0.15%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、2018年9月末以降に海外投資家による短期の国債への需要の高まりを受けて-0.3%近辺まで低下しました。その後、期末にかけてマイナス幅を縮小し-0.13%近辺で期末を迎えました。

### 【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

## 今後の運用方針

日本銀行は2018年7月の金融政策決定会合において、現行の金融緩和政策を粘り強く続けていくため政策金利のフォワードガイダンスを導入しました。したがって当分の間、市場利回りは低い水準での推移が見込まれます。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年7月26日～2019年7月25日		
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.002% (0.002)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	0	0.002	
期中の平均基準価額は10,170円です。			

\*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*円未満は四捨五入しています。

## 売買及び取引の状況

(2018年7月26日から2019年7月25日まで)

### ■公社債

		買付額	売付額
国	内	千円 160,936	千円 — (400,000)
		3,221,655	— (3,512,000)
		1,008,280	— (800,000)

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

\*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

\*社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれていません。

## 主要な売買銘柄

(2018年7月26日から2019年7月25日まで)

### ■公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
30 政保日本政策	390,717	—	—
85 政保道路機構	324,627		
2 政保地方公共団	302,403		
18 政保政策投資C	300,426		
107 政保道路機構	210,398		
82 政保道路機構	201,646		
91 政保道路機構	180,666		
100 政保道路機構	159,004		
93 政保道路機構	148,339		
7 政保原賠・廃炉	120,064		

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2018年7月26日から2019年7月25日まで)

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 4,390	百万円 390	% 8.9	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

組入資産の明細

2019年7月25日現在

■公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
地 方 債 証 券	千円 60,000 ( 60,000)	千円 60,135 ( 60,135)	% 1.6 ( 1.6)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 1.6 ( 1.6)
特 殊 債 券 (除く金融債券)	1,772,000 (1,772,000)	1,780,139 (1,780,139)	47.3 (47.3)	— (—)	— (—)	— (—)	47.3 (47.3)
普 通 社 債 券	900,000 ( 900,000)	902,092 ( 902,092)	24.0 (24.0)	— (—)	— (—)	— (—)	24.0 (24.0)
合 計	2,732,000 (2,732,000)	2,742,367 (2,742,367)	72.9 (72.9)	— (—)	— (—)	— (—)	72.9 (72.9)

\* ( ) 内は、非上場債で内書き

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## B 個別銘柄開示

### 国内（邦貨建）公社債

銘柄	柄	当期			末
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
（地方債証券）					
167	神奈川県公債	1.5200	60,000	60,135	2019/09/20
小計		—	60,000	60,135	—
（特殊債券（除く金融債券））					
20	政保西日本道	1.4000	110,000	110,017	2019/07/29
85	政保道路機構	1.4000	320,000	320,082	2019/07/31
56	日本政策金融	0.0010	60,000	59,994	2019/09/20
91	政保道路機構	1.2000	180,000	180,623	2019/10/31
93	政保道路機構	1.4000	147,000	147,758	2019/11/29
100	政保道路機構	1.4000	157,000	158,421	2020/02/28
10	政保地方公共団	1.3000	100,000	100,905	2020/03/13
30	政保日本政策	0.1940	390,000	390,663	2020/03/18
104	政保道路機構	1.4000	100,000	101,165	2020/04/30
107	政保道路機構	1.3000	208,000	210,508	2020/05/29
小計		—	1,772,000	1,780,139	—
（普通社債券）					
2	大日本印刷	1.7050	100,000	100,024	2019/07/30
44	名古屋鉄道	2.0500	100,000	100,044	2019/08/02
164	オリックス	1.1460	100,000	100,037	2019/08/07
110	三菱地所	0.5710	100,000	100,068	2019/09/13
295	北陸電力	1.4340	100,000	100,226	2019/09/25
69	東京急行電鉄	1.7000	100,000	100,405	2019/10/25
9	長谷工コーポ	0.4400	100,000	100,089	2019/11/05
22	ホンダファイナンス	0.5610	100,000	100,188	2019/12/20
316	北海道電力	1.1640	100,000	101,007	2020/06/25
小計		—	900,000	902,092	—
合計		—	2,732,000	2,742,367	—

## 投資信託財産の構成

2019年7月25日現在

項目	当期		末
	評価額	比率	率
	千円		%
公社債	2,742,367		61.1
コーポレートローン等、その他	1,746,355		38.9
投資信託財産総額	4,488,722		100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年7月25日) 現在

項	目	当	期	末
(A) 資	産	4,488,722,927	円	
	コ	1,738,972,148	円	
	公	2,742,367,466	円	
	未	7,017,769	円	
	前	365,544	円	
(B) 負	債	728,229,259	円	
	未	702,234,840	円	
	未	25,990,132	円	
	そ	4,287	円	
(C) 純	資	3,760,493,668	円	
	元	3,698,685,821	円	
	次	61,807,847	円	
(D) 受	益	3,698,685,821	円	
	1	10,167	円	

\*元本状況

期首元本額	4,402,772,876円
期中追加設定元本額	3,761,630,971円
期中一部解約元本額	4,465,718,026円

\*元本の内訳

SMBCファンドラップ・G-R-E-I-T	75,860,424円
SMBCファンドラップ・ヘッジファンド	264,777,152円
SMBCファンドラップ・欧州株	98,347,064円
SMBCファンドラップ・新興国株	62,570,083円
SMBCファンドラップ・コモディティ	25,093,959円
SMBCファンドラップ・米国債	131,864,661円
SMBCファンドラップ・欧州債	67,072,799円
SMBCファンドラップ・新興国債	57,786,537円
SMBCファンドラップ・日本グロース株	165,261,504円
SMBCファンドラップ・日本中小型株	37,592,457円
SMBCファンドラップ・日本債	933,410,815円
DC日本国債プラス	611,843,859円
エマーシング・ボンド・ファンド・円コース (毎月分配型)	47,764,473円
エマーシング・ボンド・ファンド・豪ドルコース (毎月分配型)	172,999,503円
エマーシング・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース (毎月分配型)	8,431,979円
エマーシング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース (毎月分配型)	279,049,541円
エマーシング・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース (毎月分配型)	6,899,968円
エマーシング・ボンド・ファンド・トルコリラコース (毎月分配型)	57,039,919円
エマーシング・ボンド・ファンド (マネー・プールファンド)	297,317,957円
大和住銀 中国株式ファンド (マネー・ポートフォリオ)	97,887,844円
エマーシング好配当株オープン マネー・ポートフォリオ	3,274,103円
エマーシング・ボンド・ファンド・中国元コース (毎月分配型)	1,580,276円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (円コース)	783,500円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (中国・インド・インドネシア通貨コース)	611,491円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (BRICS通貨コース)	750,900円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (世界6地域通貨コース)	4,149,898円
米国短期社債戦略ファンド2015-12 (為替ヘッジあり)	245,556円
米国短期社債戦略ファンド2015-12 (為替ヘッジなし)	245,556円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (マネー・プールファンド)	38,099,748円

アジア・ハイ・インカム・ファンド・アジア3通貨コース	24,909,114円
アジア・ハイ・インカム・ファンド・円コース	1,725,154円
アジア・ハイ・インカム・ファンド (マネー・プールファンド)	1,001,730円
日本株厳選ファンド・円コース	270,889円
日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	18,658,181円
日本株厳選ファンド・豪ドルコース	679,887円
日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース	9,783円
株式&通貨 資源ダブルフォーカス (毎月分配型)	4,007,475円
日本株225・米ドルコース	49,237円
日本株225・ブラジルリアルコース	393,895円
日本株225・豪ドルコース	147,711円
日本株225・資源3通貨コース	49,237円
グローバルCBオープン・高金利通貨コース	598,533円
グローバルCBオープン・円コース	827,757円
グローバルCBオープン (マネー・プールファンド)	2,008,646円
オーストラリア高配当株プレミアム (毎月分配型)	1,057,457円
スマート・ストラテジー・ファンド (毎月決算型)	12,541,181円
スマート・ストラテジー・ファンド (年2回決算型)	4,566,053円
ボンド・アンド・カレンシー トータルリターン・ファンド (毎月決算型)	14,309円
ボンド・アンド・カレンシー トータルリターン・ファンド (年2回決算型)	12,837円
カナダ高配当株ツインα (毎月分配型)	66,417,109円
日本株厳選ファンド・米ドルコース	196,696円
日本株厳選ファンド・メキシコペソコース	196,696円
日本株厳選ファンド・トルコリラコース	196,696円
エマーシング・ボンド・ファンド・カナダドルコース (毎月分配型)	406,607円
エマーシング・ボンド・ファンド・メキシコペソコース (毎月分配型)	2,992,324円
カナダ高配当株ファンド	984円
米国短期社債戦略ファンド2015-10 (為替ヘッジあり)	149,304円
米国短期社債戦略ファンド2015-10 (為替ヘッジなし)	215,194円
米国短期社債戦略ファンド2017-03 (為替ヘッジあり)	1,751,754円
世界リアルアセット・バランス (毎月決算型)	1,451,601円
世界リアルアセット・バランス (資産成長型)	2,567,864円

## 損益の状況

自2018年7月26日  
至2019年7月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	32,576,263円
受取利息	33,652,029
支払利息	△ 1,075,766
(B) 有価証券売買損益	△34,480,579
売却益	157,532
売却損	△34,638,111
(C) その他の費用	△ 95,773
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 2,000,089
(E) 前期繰越損益金	75,757,721
(F) 解約差損益金	△75,738,873
(G) 追加信託差損益金	63,789,088
(H) 計(D+E+F+G)	61,807,847
次期繰越損益金(H)	61,807,847

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

## お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。(2018年9月6日付)

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。